

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	図画工作	2	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観 点 発 行 者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
9 開隆堂	<p>(1) 題材の目標・振り返りの示し方</p> <p>○各題材の目標を、3種類のマーク「知識及び技能」「思考、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」と文で示し、特に重点的に育てたい力には、下線を引き、色を変え、「～しよう」と活動を促す文末で示している。</p> <p>○振り返りについては、重点的に育てたい力に対応して児童が自己評価する際のヒントとなる「かえる」のイラストのついた「ふりかえり」の文で示している。</p> <p>(2) [共通事項]を視点とした学びの示し方</p> <p>○学習のめあてに対応したキャラクター「くふうさん」と「ひらめきさん」が登場し、[共通事項]を視点として思考させるコメントを示して学びを促している。例えば、第5・</p>	<p>(4) 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○興味・関心を高めるために、導入の場面で、各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。第5・6学年(上)「色を重ねて広がる形」では、「刷った紙を1回めくると紙の色、2回目からほったところに前の色が出てくる。思いがけない形と色の出合いをたのしもう。」と示されている。</p> <p>○作品製作の過程や発想方法のヒント、材料選択の可能性など、活動の契機となるような内容表示を工夫している。</p> <p>(5) 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫</p> <p>○表現と鑑賞との関連を図った学習活動として、第3・4学年(上)「集めて、ならべてマイコレクション」には、自然のものを集めて空き箱に並べたコ</p>	<p>(7) 題材や資料等の配列</p> <p>○すべての学年の項目に置いて題材を5項目に分類して配列している。</p> <p>○育てたい資質能力を軸に内容が構成されている。各学年の2～4頁には、そのことを、「カリキュラム編成目次」として、項目の配列を図示して掲載している。</p> <p>○掲載している作品等にサイズを明記している。</p> <p>○題材数は、第1・2学年(上)24、第1・2学年(下)25、第3・4学年(上)20、第3・4学年(下)20、第5・6学年(上)18、第5・6学年(下)18となっている。</p> <p>○造形遊びの題材数は、第1・2学年(上)(下)とも4、第3・4学年(上)以降は全て2となっている。</p> <p>○絵の題材数は、第1・2学年(上)10、第1・2学年(下)11、第3・4学年(上)</p>	<p>(8) 作品等についての示し方の工夫</p> <p>○作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントをキャラクターの吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。</p> <p>○インクルーシブ教育の取組として、意味の単位で文章がとらえられるよう改行を工夫したり、文字での表記を分かりやすくしたり、写真や絵、図の重なりを少なくすることを意識して編集をしている。</p> <p>○色覚特性の有無に関わらず、全ての児童が等しく学べるように、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集をしている。</p> <p>○文字は、ユニバーサルデザインフォントを採用し、学年に応じて文字の大きさを調整している。キャラクターの吹き出しの文字が大きく太い。</p>	<p>(9) 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <p>○発想や構想・鑑賞、製作の場面において、児童が一人でつぶやいた言葉や友達と楽しく対話をしたりしている言葉、写真が紹介されている。</p> <p>・作品を使って複数の児童が楽しんでいる写真、鑑賞をし合っている写真に、大きくスペースを割いている単元がある。</p> <p>○友達との関わり・対話を促す文(キャラクターの言葉等)が示されている。</p>

	<p>6 学年下の「ゆらゆら、どきどき」では、「くふうさん」が「どのしくみを使って動かそうかな」とつぶやいているコメントが、育てたい力に対応し学習を深める手助けとなる。</p> <p>(3)材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材ごとに主に使用する用具や材料について、ページ左上にマークと用具名や材料名を示している。 ○すべての学年において巻末に、「造形の引き出し」を設け、学年に応じて必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラスト等を使って説明している。学年に応じた表現の技法等を「～の作り方」と明記している。 ○「安全」「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全や片づけ方が身に付くよう、文や写真イラスト等で示している。 	<p>レクシヨンのお互いのよいところを紹介しあう活動があり、その次ページ「小さな美じゅつ館」には、児童の学習活動と同じように、様々なものを集めてつくられた、平面や立体の作家の作品が紹介されている。</p> <p>(6)美術作品等や生活の中の造詣の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形を鑑賞の対象として、第5・6 学年〈下〉(みんなのギャラリー)「伝統の技を学ぶ」では、我が国の10 種類の伝統工芸を、児童が製作する様子と共に写真で紹介している。また、第3・4 学年では、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などを鑑賞の対象に、第3・4 学年〈上〉(かんしょう)「絵から聞こえる音」では、感じたことを形や色で表す活動につなげるために、二つの美術作品を紹介している。 	<p>以降は全て7 となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立体の題材数は、第1・2 学年(上)3、第1・2 学年(下)以降は全て2 となっている。 ○工作の題材数は、第1・2 学年(上)6、第1・2 学年7、第3・4 学年(上)(下)とも8、第5・6 学年(上)(下)とも6 となっている。 ○鑑賞の題材は全ての学年に置いて1 つずつとなっているが、全て4 頁で構成されている。 ○1 頁題材が低学年では全題材中ほぼ半分、中高学年では2 つずつ掲載されており、内容による軽重がつけられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材にはQR コードを掲載し、インターネットを利用して、用具の扱い方やつくり方などの動画や教科書に掲載した以外の参考作品例を見ることができるようになっている。 ○教科書の最下部に、「ふりかえり」「あわせて学ぼう」の表示があり、学習後の振り返りの視点と、他教科との関連が、枠付きで明示されている。最上部には、使う材料・道具が図示されている。 ○「学習のめあて」の表示があり、中央部に目立つ枠を設け、つけたい資質・能力に係る3 つの目標が「～しよう」という表記の形で、児童に働きかける言葉で記述している。 ○教科書の最後に、「学びの資料」があり、道具の使い方・片付け方、作業の仕方等について説明をしている。 	
<p>116 日文</p>	<p>(1)題材の目標・振り返りの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資質、能力の3 つの柱に基づいて、種類のマーク「知識及び技能」「思考、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」と文で示している。 ○振り返りについては、「知 	<p>(4)興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心を高めるために、導入の場面で、各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。第5・6 学年〈上〉「ほり進めて 刷り重ねて」では、「同じ紙に、少しずつ 	<p>(7)題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すべての学年の項目に置いて題材を5 項目に分類して配列している。 ○どの題材においても、育てたい三つの資質能力に軽重はつけられておらず、各題材に置いて三つの資質能力を伸ばすと考 	<p>(8)作品等についての示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントをキャラクターの吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。 ○インクルーシブ教育の取組 	<p>(9)表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発想や構想・鑑賞、製作の場面において、児童が一人でつぶやいた言葉や友達と楽しく対話をしたりしている言葉、写真が紹介されて

	<p>識及び技能」,「思考,判断力,表現力等」に関わる問いかけはなく,「学びに向かう力,人間性等」の涵養へとつなげるために,活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを例示している。</p> <p>(2)[共通事項]を視点とした学びの示し方</p> <p>○キャラクター「ちろたん」が,子供の感覚や行為と[共通事項]を結びつけるコメントを示し,学びを促している。例えば,第5.6学年下の「音のする絵」では,「ちろたん」が「音のイメージが形や色と結びつくんだね。形や色の重なりが,音の重なりになりそうだね。」とつぶやき,形や色のもつ特徴を見つけ見方を広げるヒントを示している。</p> <p>(3)材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</p> <p>○題材ごとに,主に使用する用具について,ページ番号横にマークで示している。</p> <p>○全学年において巻末に「使ってみよう材料と道具」を設け,学年に応じて必要な用具の扱い方や技法,材料についてイラストや写真を使って説明している。</p> <p>○題材によって「気を付けよう」「かたづけ」の囲み</p>	<p>つはったはんを,色を変えて刷っていこう。思いに合った形になるように,ほって,刷って,はんで表そう。」という文で活動のきっかけを示している。</p> <p>○発達段階に合った材料を使い,作り変えながら考えることを大切にしたい題材を配置の工夫をし,学んだことを生活や社会で生かしたりつないだりする事例を紹介している。</p> <p>(5)表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫</p> <p>○表現と鑑賞との関連を図った学習活動として,第5.6学年(下)「この筆あと,どんな空?」では,画家が空を描いた美術作品を見て,表し方の違いを見つけ,よさや美しさを味わう活動の後に,筆あとを生かして自分の空を描く活動を設定している。</p> <p>(6)美術作品等や生活の中の造詣の取り扱い</p> <p>○身近な作品・我が国や諸外国の親しみある美術作品等や生活の中の造形を鑑賞の対象として,第5.6学年(上)(図画工作のつながりひろがり)『形や色に思いをこめて』多くの人へ伝える」では,多くの人に分かりやすく伝わるよう視覚的</p>	<p>え,内容が構成されている。</p> <p>○掲載している作品等にサイズを明記している。</p> <p>○題材数は,第1.2学年(上)24,第1.2学年(下)23,第3.4学年(上)(下)とも23,第5.6学年(上)21,第5.6学年(下)20となっている。</p> <p>○造形遊びの題材数は,第1.2学年(上)5,第1.2学年(下)4,第3.4学年(上)4,第3.4学年(下)5,第5.6学年(上)2,第5.6学年(下)3となっている。</p> <p>○絵の題材数は,第1.2学年(上)7,第1.2学年(下)8,第3.4学年(上)8,第3.4学年(下)7,第5.6学年(上)8,第5.6学年(下)6となっている。</p> <p>○立体の題材数は,第1.2学年(上)(下)とも4,第3.4学年(上)5,第3.4学年(下)4,第5.6学年(上)5,第5.6学年(下)4となっている。</p> <p>○工作の題材数は,第1.2学年(上)6,第1.2学年(下)5,第3.4学年(上)(下)とも5,第5.6学年(上)4,第5.6学年(下)5となっている。</p> <p>○鑑賞の題材は第3.4学年(上)が1つで,それ以外の全ての学年に置いて2つずつとなっている。全</p>	<p>として,材料の種類をしぼった題材,一つの題材の中に,屋内と屋外,自然材と身近材等,複数の実践パターンを示すことを意識して編集をしている。</p> <p>○色覚特性の有無に関わらず,全ての児童が等しく学べるように,コントラストや文字の背景色など,カラーユニバーサルデザインに配慮して編集をしている。</p> <p>○文字は,教科書体を採用し,学年に応じて文字の大きさを調整している。</p> <p>○デジタルマークを付けた題材では,ICTを活用して学習を効果的に進められるように,ウェブサイトコンテンツが用意されている。</p> <p>○教科書の最下部に,「きをつけよう」「かたづけ」の表示があり,安全に係る留意点と片付けのポイントが明示されている。また,学習に使う道具が同様に図示されている。</p> <p>○学習のめあてについて,最上部につけたい資質・能力に係る3つの目標が,「～する」という表記の形で記述してある。</p> <p>○教科書の最後に,「使ってみよう材料と用具」というページがあり,道具の使い方・片付け方,作業の仕方等について説明をしている。</p>	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園(保育所)や中学校との接続・関わりを意識した写真を掲載している。 ○友達との関わり・対話を促す文(キャラクターの言葉等)が示されている。
--	---	--	---	--	--

	<p>を設け、用具の安全な使い方や片づけ方について文で示している。</p>	<p>な図で示された記号を紹介している。また、第3・4学年では、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などを鑑賞の対象に、第3・4学年（下）では、（かんしょう）「ポーズのひみつ」では、気付いたことや感じたことを伝え合うために、4点の美術作品を紹介している。</p>	<p>て2頁ずつで構成されている。 ○どの学年も、すべての題材が見開きになっている。</p>		
--	---------------------------------------	--	--	--	--